

世界無形文化遺産 日本の登録物件一覧

能楽	(2001年)
人形浄瑠璃文学	(2003年)
歌舞伎	(2005年)
雅楽	(2009年)
和食	(2013年)
和紙	(2014年)



金 危機的状況ということが起こっているのではありませんか？

大 伝統構法について冒頭でお話ししましたが、私たちの活動においては単に建築技術だけを指すものではありません。大工、左官、建具師、屋根師、塗師、鍍金師など多くの職人さんと、その方たちが使う道具や材料を生み出すモノづくりの職人さんたちの技術の総合体です。また、伝承されてきた慣例や儀式、植林や製材なども含まれます。



金 伝統構法という言葉だけでは敷居が高そうなイメージですが、そういったお話を聞くと身近に感じられます。

大 そう感じてもらうこと自体が、活動の意義でもあるんです。今は、伝統構法が漫画にもなっているんですよ。「週刊漫画タイムズ」で600話以上10年間続いている「解体屋ケン」という漫画なんですけど、たまたま喫茶店で見かけて、伝統構法について熱く語る棟梁のセリフに感動したんです。作家さんにメールを送って感動を伝えたら「ぜひ会ってください」ということで、私

も実名で登場することになったんです。いろいろな人たちが協力して伝統構法で家を建てていくストーリーが進んでいます。

金 たかが漫画、されど漫画といったところですね。

大 偶然のご縁だったとはいえ、そういうことでより多くの人に身近な問題として感じてもらえたり、職人さんたちの自信や誇りに繋がったら嬉しいじゃないですか。私は、伝統構法の無形文化遺産化は、職人さんたちみんなの勲章だと思っています。「俺がやっている仕事はユネスコ無形文化遺産の中の一つだぜ」みたいな(笑)。

金 この漫画のような力があるかどうかは分かりませんが、我々も「金物マガジン」というメディアを通じて何かできることがあるような気がしてきました。

大 今後は署名活動を進めていく予定ですので、そういう部分でも是非力を貸していただきたいと思っています。正直なところ、集めた署名がどこまで国を動かすかは未知数ですが、その過程に意味があると思うので、また、前回の「全国削ろう会」の会場では、準備会で作ったTシャツを販売したりスタッフの皆さんに着てもらったりもしました。私のようにマテックな人間だけがいくら躍起になったところで、広がっていかないですからね(笑)。

金 「金物マガジン」を読んで下さっている職人さんや、サポートいただいている企業の皆さんにとっても、この活動は決して他人事ではないわけですね。

大 そう思っていただけなのは何よりです。そのためには、最近では伝統構法という言葉だけでなく「日本建築の匠の技」伝統構法」として、よりイメージしやすい表現で発信するようにしました。近い将来、匠の技に誇りをもって働く職人さんの姿を、子どもたちが憧れの眼差しで見つめるような時代が来ることを願っています。



金 「金物マガジン」を読んで下さっている職人さんや、サポートいただいている企業の皆さんにとっても、この活動は決して他人事ではないわけですね。

大 そう思っていただけなのは何よりです。そのためには、最近では伝統構法という言葉だけでなく「日本建築の匠の技」伝統構法」として、よりイメージしやすい表現で発信するようにしました。近い将来、匠の技に誇りをもって働く職人さんの姿を、子どもたちが憧れの眼差しで見つめるような時代が来ることを願っています。